




いぶき 第78号
 発行者 吉野公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.johas.go.jp>

地域がん診療連携拠点病院・ 緩和ケアセンターについて

副院長 國土 泰孝



このたびは香川労災病院で、地域がん診療連携拠点病院としてがん患者様にさらには良質な緩和ケアを提供するために2020年7月に緩和ケアセンターを新設しました。今回は、当院の最新のがん治療と緩和ケアセンターについて説明いたします。

最新のがん治療

香川労災病院は2006年に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、現在まで、中・西讃地域で最新のがん治療を提供しています。

外科的治療

患者さんにやさしい腹腔鏡や胸腔鏡手術を多くの患者様にうけていただいています。また最新のロボット支援手術画像支援手術も導入しており、泌尿器科から導入し、現在外科でも導入を開始しています。年間約750人の患者さんが最新のがん手術を受けています。

内科的治療

新規抗がん剤や分子標的薬は香川県で早期に導入し、いろいろ話題のオプジーボ

に代表される免疫チェックポイント阻害薬等も、早期より多くの患者さんの治療に用いています。年間1800人以上の患者さんが化学療法を受けられています。

放射線治療

当院では年間約250人の患者さんが最新の放射線治療を受けられています。放射線治療はがんの根治のための治療から、痛みなど症状を緩和することができ、根治のため、抗がん剤や手術と組み合わせる適切な治療を検討し、実施しています。

キヤンサーボード・治療検討会

香川労災病院では内科・外科を中心に、放射線科、病理診断科、薬剤師、看護師などが集まり、画像検査結果、病理組織検査結果、血液検査結果などを検討しています。それらを総合して、患者さんの病気の状態や体の状態に応じて、最良の治療を提供できるようにしています。

緩和ケアセンターについて

第3期がん対策推進基本計画の「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」を実現するために地域がん診療連携拠点病院として2020年7月に緩和ケアセンターを新設いたしました。緩和ケアセンターの役割が、がんになると、体や治療

のことでではなく、仕事のことや、将来への不安などのつらさも経験するといわれています。緩和ケアは、がんに伴う心と体のつらさを和らげます。

緩和ケアセンターはがん患者サポートチーム、がん看護相談外来、緩和ケア外来などを集約し、より良い緩和ケアを提供する院内拠点となり、がん看護専門看護師や緩和ケア認定看護師が在籍しております。

地域との連携

緩和ケアセンターの最も重要な働きとして、「患者様やご家族が地域の希望する場所で療養できるよう」、地域の先生方・訪問看護師・自自治体等と連携することがあります。そのために、香川労災病院緩和ケア検討会を2020年7月より開催しています。

がん患者サポートチーム

香川労災病院では2004年に、がん患者様やご家族が感じている様々な「つらさ」を軽減するためにがん患者サポートチーム(緩和ケアチーム)を立ち上げました。

医師、看護師、薬剤師、公認心理師、社会福祉士・栄養士・理学療法士など多職種で構成されたチームで、がんに伴う、痛みのつらさ、体のつらさ、心のつらさ、さらに生活のつらさなどを、緩和できるよう取り組んでいます。痛みやつらい症状を和らげ、患者様とご家族の希望にそった、緩和ケアの提供を目指しています。

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のよりよい
医療と看護を提供します

緩和ケア外来

地域で療養しているがん患者様を対象に、苦痛を和らげるため、多職種で、症状緩和のための相談、提案を行っています。紹介予約制で行っております。医師、看護師、薬剤師が対応いたします。

人生会議(アドバンスドケアプランニング)

アドバンスドケアプランニング(ACP)とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、患者さんや近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセスのことです。そういった相談も最近ではお受けしています。

最期に

香川労災病院は最新のがんの治療を受けた患者様が、地域で尊厳を持って安心して暮らせるようこれからお手伝いいたします。(当院のホームページもご覧ください。)

特定看護師紹介

患者サポートセンター 特定看護師(創傷管理) 松永 希

少子高齢化の進展による医療・介護ニーズの増大と医療の高度化・複雑化は、私たちがこれまで経験したことのない環境の変化であり、特に香川県は高齢化率が高く、糖尿病等などの生活習慣病が最も多いという現状に対し早急な対応が求められております。

その状況下、国は在宅医療等の推進を図るため、2015年に「特定行為に係る看護師の研修制度」をスタートしました。この研修を受けた看護師は、「特定看護師」といい、医師の指示(手順書)のもと、特定の診療補助行為ができます。

私は、皮膚・排泄ケア認定看護師という創傷、人工肛門・膀胱、失禁ケアの資格を取得したのち、2018年に創傷管理を中心とした特定行為研修を修了しました。主に床ずれ、足の壊疽や術後の創感染がある方に「血流のない壊死組織の除去(デブリードマン)」「陰圧閉鎖療法」等を行い、



早く治癒すること、再び傷にならないように予防指導を行っています。また、患者サポートセンターに所属しており、床ずれなどの創傷の相談依頼があれば、在宅などにご訪問させていただいています。早期に介入し重症化を予防していくことで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように支援しています。訪問看護をご利用されておられる方で創傷についてお悩み、心配なことがございましたら、患者サポートセンターにご相談ください。

がん相談支援センターのご案内

相談窓口について

がん看護専門看護師 岩田 尚子

がん相談支援センターは、どなたでも無料でご利用いただけるがんに関する相談窓口です。当院は地域連携・患者サポートセンター内に設置し、随時相談を受け付けています。相談は予約不要で対面、電話、メールなどで相談でき、相談内容は秘密を守ります。相談員は看護師、社会福祉士、公認心理師など多職種が在籍しており、相談される方が気になっていること、疑問に思っていることなどを教えていただき、一緒に解決できるようなお手伝いしたいと思っています。

相談される方の中には、「こんなことを聞いてもいいのかな」、「患者ではないけど、相談してもいいのかな」と迷われる方がいますが、そのようなことはありません。例えば、下記相談内容の他に、「元気だった家族が突然がんと診断されてつらい」などつらい気持ちや、誰にも話せない

悩みを話しに来てくださることも可能です。私たちは患者さんご自身だけでなく、側で支える方々の支援者でもありたいと思っています。皆様からのご相談をお待ちしています。



四季の植物

ペンタス

アカネ科・クササンタンカ属(ペンタス属)

西4病棟看護師・高橋希巳江

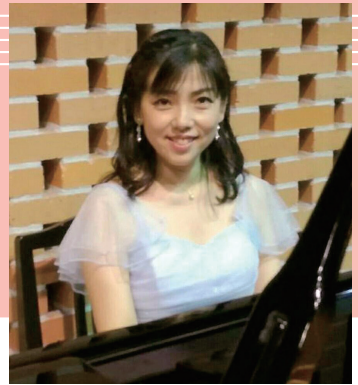
春から秋まで長期間開花します。ペンタスはギリシャ語で数字の「5」を意味する「ペンテ」が語源、5枚の花弁は星の形に似ています。花言葉は「希望が叶う・願い事」、6月26日、9月16日、11月5日の誕生花です。

相談内容	例
がんの治療	手術、化学療法、放射線治療について知りたい
がんの検査	がんの診断に伴う検査について教えてほしい
ホスピス・緩和ケア	緩和ケア病棟について詳しく教えてほしい
仕事・就労	職場に病気のことをどう伝えたらいいかわからない
医療費・生活費・社会保障制度	高額療養費制度、傷病手当受給について知りたい

連載④

「演奏家として」

ピアニスト 田村 真穂



田村真穂さんは丸亀市出身で、パリ・エコールノルマル音楽院を修了された後、オルデンブルグ州立歌劇場でヨーロッパデビュー。天性の豊かな音楽性で聴衆を魅了し、現在も国内外で幅広く活躍されています。

語学研修の為に訪れた「トゥール」。フランスの庭とよばれるロワール川沿いの古城や美しい景色が堪能できるこの町で私は毎日ピアノが練習できるといふ条件を受け入れてくれた家庭にホームステイすることになりました。そこには愛情豊かなマダムとその家族、リセに通う高校生のヴァンソンとリーズの他に、イラクから語学留学中のアハメッドとアバスが居ました。このイラク人の彼らは、TGV(高速鉄道)で約1時間かかるパリとトゥールを毎週末、何とタクシーで往復している、大金持ちの石油王?毎朝アララーの神に熱心にお祈りをし、弱冠20歳で立派な髭を蓄え、私の



ホストファミリー

パリに戻ってまたピアノ三昧。音楽院では、リスト作品の名演奏家であることからマダムリストと呼ばれるF・クリダ氏に師事し、1800年代にタイムスリップしたような、パリらし

ピアノを聞いては偉そうに、なぜか的確な批評をしてくれました。語学学校で一緒だったのは、リヨンでボリス・ヴィアンの研究をしている阪大の院生や、パリでマルセル・ブルーストの「失われた時を求めて」について研究をしている東大生ら同じロタリー財団からの奨学生たち。語学力は天地の差でも、一生の研究テーマに信念を持ち高みを目指すその気持ちだけは同じ。私たちはすっかり意気投合し、カフェで熱く語り合い、週末には車で古城巡りもしました。友にも恵まれ、お料理の上手なマリイの優しい家から学校に通ったひと月の充実した語学研修は終わりました。



財団奨学生たちと



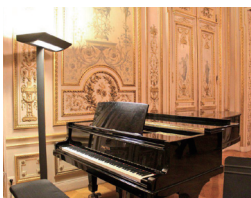
週末のパーティー

い豪華な装飾が施された白亜のオスマニアン建築の貴族の館、彼女の私邸にもレッスンに通いました。へピアノは漁師にとつての船であり、騎士にとつての馬である。「リスト」演奏家として私たちは何ができるのか?夢みる愛情や色彩に溢れたこのピアノという楽器の前に「貴重なレッスンの中で、正統的なフレンチピアノリズムの守護者である彼女からとても多くのことを教わりました。よんでん文化振興財団の海外奨学生として、またロタリー財団の国際親善大使としての責任を担い目標を持って勉強しに来ているのだから、淋しいなどと言っていないはいけないと思うものの、海外での独り暮らしがこんなにも孤独とは知りませんでした。我慢していたのに堪えきれず母に電話をして、声を聞いたらピロンと張っていた糸が切れて号泣してしまったこともありました。そんな辛い日々、いつも思い返したのは「自灯明」という言葉でした。



エコール・ノルマル音楽院

暗く足元が見えない時は、自らが明るく灯火となり道を照らし歩いていく。この宇宙、山川草木みな太陽の恩恵を受けて私たちは繋がっている。私は孤独ではない。両親や妹がいて多くの人に助けられ皆と繋がっている。日々感謝して精一杯勉強させて頂く。南フランスで開催されたピアノのマスタークラスにも参加したり、大失敗したり賞を貰ったり、泣いたり笑ったり、あつという間の2年間。学ばずば学ばず、あともう少しこのヨーロッパで勉強したいと思う気持ちも強くなりました。もともとと勉強したい。日頃の必死の節約のかいあって資金もまだ少しある。私は決めました。ドイツへ行くことにしました。リストやシヨパンの過ごした花の都、教会の鐘の音と共に毎日練習したパリのアパルトマンに別れを告げ、ベートーヴェン、バッハ、ブラームスの国、音楽大国ドイツへと、さあ、出発です。



音楽院内のレッスン室

連載⑤「ドイツ編」へ続く

肝臓病教室「肝臓病の食事について」

栄養管理部 西山 真衣

肝臓は、体に必要なたんぱく質をつくり(合成)、エネルギーの貯蔵していたものを全身が使えるかたちに変えるはたらき(代謝)、有害物質を無毒化させる解毒作用があります。そのほかにもいろいろな役割を担っており、肝臓は生きていくうえで欠かせない大切な臓器です。肝臓に障害が起こると、みえないところでさまざまな栄養代謝障害が起こるため食事療法がとても重要になります。

「肝臓によい食べ物がありますか?」と聞かれることがあります。残念ながら「これを食べれば万全」という食べ物はありません。肝臓の基本的な食事療法は、主食・主菜・副菜がそろったバランスのよい食事を摂ることです。

偏った食事をしてしまうと栄養素に偏りが生じ、肝臓の機能を悪化させる要因となります。肝臓の機能・症状に合わせて、食品・調理法の選択をするとよいで



ご飯、パン、麺類などエネルギー源となるので適量とりましょう



魚、肉、大豆製品、卵などたんぱく質を豊富に含み、筋肉や皮膚をつくります



野菜、海藻、きのこなどビタミン、ミネラル、食物繊維を多く含みます

しょう。またバランスのよい食事を心がけていても、不足しがちなものがビタミン・ミネラル類です。肝臓には、ビタミンを蓄える働きがあります。肝臓の機能が低下するとビタミンの貯蔵能力が落ちてしまうので、ビタミンを十分に補給することが必要です。ビタミン、ミネラル、食物繊維を多く含んでいる野菜や海藻類、きのこ類を積極的に摂取するようにしましょう。外食は野菜が不足がちになるので、どんぶり物や麺類などの単品ものよりもサラダや付け合わせ、小鉢がついた定食やセットメニューがおすすです。またエネルギーや塩分のとりすぎにも注意しましょう。

当院では、3ヶ月に1度肝臓病教室を実施しております。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため現在中止しております)ご興味のある方は是非ご参加ください。

部署紹介「病院の薬剤師」

薬剤部長 濱野 晃至

病院が舞台のテレビドラマをよく見かけます。医師や看護師は主役として度々登場してくるのに、薬剤師はあまり見かけなかったが、ありません。病院、調剤薬局、ドラッグストアなど、薬剤師は結構身近な存在になり、みなさんと接していると思います。

私たちは「病院薬剤師」で薬剤師の中でも少数派です。私たちは「医薬品のあるところ薬剤師あり」というスローガンを掲げ、患者さんに医薬品を有効かつ安全に使用していただくため、日々最新の知識と技術を学び研鑽しています。医薬品は正しく使うことで初めて十分な効果が得られますが、最近の医薬品は効果の高い性質を持つ反面、十分理解して使用しないと逆効果になってしまいます。また、医薬品同士で効果を強めたり、弱めたり、あるいは食事の影響、健康食品やサプリメントとの併用が医薬品の効果に影響を与えることもあります。

「セルフメディケーション」という言葉、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と世界保健機関(WHO)は定義しています。日頃から自分の健康状態と生活習慣をチェックし、天候不順や仕事の疲れなどによるちよつとした体調不良の際に、市販薬などを上手に使用して自分自身で健康の維持や病気の予防・治療にあたることです。しかし、健康に気をつけていても、軽いけがや風邪などの体調不良を起こすこともあります。そんなときは、薬局・薬店・ドラッグストアなどで市販されている医薬品(OTC医薬品)を上手に利用し、自分で手当てするセルフメディケーションが役立ちます。

新任医師紹介



外科副部長 小西 大輔

令和2年10月1日付で着任しました、外科の小西大輔です。平成20年に岡山大学を卒業後、福山第一病院

編集だより

患者サービス向上委員 富田 真理

めつきり秋らしくなりました。秋にはさつまいもや秋刀魚などたくさんの種類の食材がうまみを増して夏に疲れた身体を癒してくれます。季節の変わり目のため、体調を崩さないようお気を付けください。

さて、今回の広報誌いぶきは緩和ケアセンターの開設など当院の取り組みについてお届けしています。より一層皆さまにとって有意義な広報誌になるよう努めてまいりますので、ご意見、ご要望をお寄せください。

で初期研修を行い、倉敷中央病院で後期研修を行いました。その後は静岡市立静岡病院、津山中央病院を経て岡山大学大学院に戻りました。肝胆膵グループにて半年の病棟業務の後に2年半の研究を終え香川労災病院で勤務させていただきましたこととなりました。研究から臨床に戻ってきたばかりなので、ご迷惑をお掛けすることがあろうとは思いますが、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。